



『秘すれば花』では 伝わらない時代

和菓子の世界では、知らない人はいないカリスマバイヤーと言われている高島屋の畑主税（はた・ちから）さんのお話をじっくり伺う機会がありました。畑さんは全国各地の和菓子屋に直接足を運んで実際に食べてから、仕入れるかどうかを決めています。その数は2000店舗以上、食べたお菓子は1万個にも及び、場合によっては季節限定の菓子を確認するために、1年のうちに何度も同じ店を訪ねることもあります。

和菓子は、地域の歴史や文化、風土を映しており、素材や製造技術もその土地ならではのものが少なくありません。地方の特産品の代表ともいえる分野ですが、これを東京などの都市部で消費するためには、消費期限・賞味期限が短すぎるという課題があります。例えば茶道の席で出される上生（じょうなま）菓子の賞味期限は、製造した日限りというのが普通です。そのため東京で紹介すれば間違いなく売れるものでも、通常の販売ルートでは扱えないことになります。

この問題を解決するために、畑さんは常識破りの二つの方法を始めました。一つは、あらかじめ告知をしてお客さんを確保した上で、朝に製造したものを新幹線や飛行機を使って手で運び、その日のうちに売って食べてもらう方法です。ある意味強引なやり方ですが、とても人気が出て、京都からの航空便の利用はすっかり定着しました。当初は京都から新幹線で運んでいたそうですが、停車時間が2分しかなく、その間に手持ちで段ボール箱をいくつも持ち込むのが難しいとい

う理由から、その後、一旦集めたものを伊丹空港から羽田に運ぶ航空便の利用が定着しました。交通費などの経費を価格に乗せても、飛ぶように売られています。

もう一つの方法は、地方から職人さんを東京に連れてきて、その場でつくってもらうという催事の企画です。そうすれば、その場で手づくりの技や、職人さんの人柄なども直接お客さんに伝えることができます。こちらも当初は数軒の和菓子屋さんが参加しただけの催事でしたが、どんどん人気が高まり、参加する店舗やお客さんも増えて、繰り返し開催されています。いまや海外にもその人気は知られるようになり、タイのバンコクやシンガポールで同様の催事が定期開催されるようになりました。こちらも何軒かの和菓子職人が現地に出張して、その場で和菓子をつくります。

物と情報があふれ、客が購買を決める判断にかかる時間がとても短くなっている現代においては、価値をいかに短時間でお客さんに伝えるかが問われています。目の前で職人がつくことで、ものづくりの丁寧さや和菓子の美しさがどのように生み出されるのかリアルタイムに伝わります。これはお客さんにとっても貴重な体験となります。

また、同じ場所で作ると、職人同士、お互いの技術や素材などが他者に分かっけてしまいます。かつて職人の世界は秘密主義が強く、こうした交流は考えられないことでしたが、このような交流をきっかけに新しい商品企画が生まれ、次の時代に和菓子業界が生き残るためのつながりが生まれています。世阿弥の言葉、「秘すれば花」を良しとする職人の在り方にも、変革が求められています。

地域経済アナリスト／コンサルタント 渡辺 和博



合同会社ヒナニモ代表。元日経B P総合研究所上席研究員。筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了後、日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌の編集を担当。日経B P総合研究所上席研究員として全国の自治体・商工会議所などでコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援。2025年4月から現職。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経B P社）。NHKラジオ『マイ! あさ』マイ! Bizコーナーでも地域の事業者の取り組みを定期的に紹介している。

～ 健やかで安心した未来のために ～

火災共済	店舗・住宅・家財を守る安心のプラン
がんサポート共済	がん入院やがんの治療に備えた保障
シルクシニア	シニア世代の入院・がん入院等を保障
フレンド共済21	お手頃の掛金で入院・死亡などを保障
傷害共済	偶発の事故による傷害（ケガ）を保障
ファミリー交通傷害共済	1口で契約者・同居家族の交通傷害を保障
自動車共済	専門職員によるキメ細かい事故対応

親切・丁寧・安心を
お届けします

 **ぐんま共済協同組合**
ぐんまで生まれ ぐんまで育った ぐんまの人の ぐんま共済

《お問合せ先》
館林商工会議所
☎ 74-5121

《引受共済組合》
ぐんま共済協同組合 太田支店
☎ 0276-46-9596



各種伝票・封筒・名刺・ハガキ
広報誌・小冊子・自費出版物
パンフレット・ポスター・シール
ステッカー・カレンダー・横断幕
証書入れカバー・巾着袋（ポリ袋）
名入れファイル他

田部井印刷有限会社

代表取締役 田部井 孝一

〒374-0066 館林市大街道1-14-38

TEL 0276-72-1221(代)

FAX 0276-73-1288

E-mail: okaidokt@crocus.ocn.ne.jp